

令和6年度 経営発達支援事業

事業評価報告書

福崎町商工会

令和 7 年 4 月 28 日

【全体の講評（総括）】

中小企業診断士 荒木慎吾

事業評価委員会での各委員のご意見、及び事前の評価・コメントも踏まえて、全体の講評（総括）をさせていただきます。事業評価委員会では、冒頭に「事業評価報告書に関する事業評価委員からの質問等への回答」を福崎町商工会から説明して頂き、その後各委員からは積極的な発言があり、有意義な意見交換が出来ました。まず、「Ⅰ.経営発達支援事業の内容」は定量的な評価項目であり、一部に未達成の項目があった為、原因と対策について意見を交わしました。一方、福崎町地域振興課 課長 成田委員からは、「福崎町創業支援補助金については令和 7 年度以降も継続し、必要に応じて補正予算も組めます」とのご意見をいただきました。その為、福崎町商工会におかれましては、今後も創業希望者の情報を積極的に収集していただき、福崎町創業支援補助金の申請支援をお願い致します。

次に、「Ⅱ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み」については定性的な評価項目であり、各委員より概ね好意的なコメントをいただきました。一方、人口や事業所数が減少する中では、中播磨の商工会が連携することが重要であり、各商工会で重複している事業を見直していくことの必要性を、福崎町商工会より説明していただきました。この点につきましては、神河町商工会・市川町商工会・姫路市商工会と緊密に連携を取りながら進めていただきますように、お願い致します。その上で、中播磨の職員間で支援力の底上げができるものと期待しております。また、福崎町商工会 会長 大井委員からは「巡回強化」のご意見をいただきましたので、巡回時に得た情報を今後も商工会内部で共有し、支援力向上に取り組んでいただきますように、お願い致します。

福崎町商工会は少ない職員数で多くの会員事業所を支援されており、組織率は 65%に達しておられます。職員間の情報共有は円滑に実施されており、セミナーや個別相談の開催方法、及び専門家の選定についても、一定の工夫が見られます。令和 6 年度の DX 推進セミナーやマーケティングセミナーと個別相談会の開催など、一定の工夫をされている点は十分に理解できました。このように工夫された点につきましては、県内の商工会で積極的な情報共有を宜しくお願い致します。令和 7 年度も引き続き、福崎町商工会と会員事業所の発展を祈念しております。

以上

事業評価及び見直しをするための仕組み（計画書 14P）

経営発達支援計画を円滑かつ効果的に進めるために、行政や支援機関等の外部有識者による事業評価委員会を設置し、年1回事業の成果、評価及び見直しを行うとともに、その結果を当会のホームページにより公表し、福崎町商工会の実施する経営発達支援事業の効果的なPDCAサイクルを構築する。

事業評価委員会

区分	所 属	役 職	氏 名
委 員	中小企業診断士		荒木 慎吾
	日本政策金融公庫姫路支店	支店長	佐藤 文昭
	中小企業基盤整備機構近畿本部	播磨エリアマネージャー	北島 成浩
	福崎町地域振興課	課長	成田 邦造
	兵庫県商工会連合会	広域指導センター所長	白川 健治
	福崎町商工会	会長	大井 克哉
		副会長	小幡 八郎
		副会長	橋本 正彦
		法定経営指導員	船田 和夫

（評価方法）

- ①事業ごとに設定した数値目標に対する実績並びに実施した内容を明記する。また、実施した事業（セミナー等）に対する参加者からアンケートを取りまとめる。
- ②外部有識者から①を基に事業成果に対する評価・見直し案について提示を受ける。
- ③評価・見直し案作成のうえ、評価委員会にて事業評価を実施。事業見直し案を作成する。

【評価の目安】

A：達成率 90～100% B：達成率 70～89% C：達成率 40～69%
D：達成率 1～39% E：達成率 0%

（改善方針の決定）

正副会長会において評価・見直し案を提出、改善方針を決定する。

（事業の成果・評価・見直しの結果の報告及び承認）

理事会・総代会に報告し、承認を受ける。

（公表）

商工会ホームページにて事業評価及び見直した事業計画を公表する。

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】（計画書 4～5P）

【取組んだ内容】

中小企業景況調査（地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態等諸情報を迅速・的確に収集・提供し、経営改善普及事業の効果的な実施に資するもの）を異なる業種で7事業所を対象に四半期ごとに実施し、分析を行った他、兵庫県・経済雇用情勢調査や地域金融機関からの景況調査を取りまとめ、経済動向調査レポートとして商工会のホームページに4回掲載した。

小規模事業者等が事業計画策定等で効果的に調査レポートを活用できるよう、管内の経済動向等について、より詳細な実態を把握するため、「RESAS（地域経済分析システム）」を活用した地域の経済動向分析を行い、令和7年3月発行の経済動向調査レポートに掲載した。

【外部リンク】[景気動向・各種統計ページ – 商工会ホームページ](#)

【令和6年度の目標及び実績】達成率 100%

項 目	目標	実績
①経済動向調査分析の公表回数	1回	1回
②景気動向分析の公表回数	4回	4回

【評価・コメント】

評価	コ メ ン ト
A	目標通りの実績が確認できた。（荒木）
A	目標どおりの実績である。（佐藤）
A	最近は特に中小企業を取り巻く環境や経済動向の変化が激しいところ、商工会において定期・適切に実態等諸情報を的確に収集して、とりまとめ、公表している。また、この情報をもとに、地域企業に対して適時・効果的に経営改善普及事業を行っている。（北島）
A	目標どおりの実施ができており、地域経済の景気動向が反映されたレポートとなっている。（成田）
A	経済動向調査分析、景気動向分析ともに計画通り公表されており、特に問題はないと思います。（白川）

2. 需要動向調査に関すること【指針③】（5～6P）

【取組んだ内容】

事前相談や継続支援を行っている事業所を対象に店頭等で2件、東京インターナショナル・ギフト・ショーにてアンケート（BotB）を2件実施し、アンケートの分析及び改善計画の策定等事業所支援を行った。

消費者アンケートについては専門家派遣制度を活用し、アンケートの作成・取り方・分析・事業計画策定の支援を行った。1者（美容業）については来店利用者を対象に38件回収。回収したアンケート回答内容から、販売している独自の

オーガニックスキンケア商品への今後の改善案に活用した。もう1者（その他の専門料理店）については来店利用者を対象に315件回収。回収したアンケート回答内容から、メニュー変更や提供内容の改善を行った。

第98回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2024では2者のアンケート調査の支援を実施し1者（針・ピン・ホック・スナップ・同関連品製造業）については、ブース来場者に対してアンケート調査の支援を実施し、3日間で34件回収。回収したアンケート調査をもとに商品の発注数量と今後のカラー展開の判断材料とした。もう1者（配合飼料製造業）については、ブース来場者（バイヤー中心）に対してアンケート調査を実施し、3日間で87件回収。回収したアンケートもとにパッケージのデザインを変更するかの判断材料とした。（大多数がそのままで良いとの回答だったため、変更を行わなかった）

【令和6年度の目標及び実績】 **達成率 100%**

項 目	目 標	実 績
①消費者アンケートの調査対象事業者数	2 者	2 者
②商談会やビジネスマッチング等でのアンケート調査対象事業者数	2 者	2 者

【評価・コメント】

評価	コ メ ン ト
A	目標通りの実績が確認できた。（荒木）
A	目標どおりの実績である。（佐藤）
A	継続して支援している地域企業に対して、東京での商談会で BotB 支援をしたことは、対象企業にとってまたとない貴重な機会になったのではないかと思料する。 地域中小企業のために、展示商談会等での支援は今後も継続して取り組んでもらいたい。（北島）
A	目標どおり実施できている。（成田）
A	消費者アンケートの調査、商談会やビジネスマッチング等でのアンケート調査ともに計画通りの実績であり。結果を分析した上で事業者支援に有効活用されていると思います。（白川）

3. 経営状況の分析に関すること【指針①】（6～7P）

【取組んだ内容】

①経営分析セミナーの開催

- ・ 名 称：知的資産経営支援セミナー
- ・ 日 時：令和6年9月12日（木）13:30～15:30
- ・ 場 所：市川町文化センター コミュニティーホール
- ・ 講 師：有限会社ツトム経営研究所 所長 森下 勉 氏
- ・ 参 加 者：49名（福崎町内事業者 12名）

企業価値の向上に繋げる知的資産経営について、具体的な事例を踏まえて分か

りやすく紹介し、参加事業者が自社の経営課題の解決に取り組むきっかけづくりとなる内容とした。

セミナー開催後に、本セミナーのテーマに関する個別相談は実施しなかったが、その他希望者に応じて個別相談を行い、専門家のアドバイスを受けながら円滑な経営計画書策定へ向けての支援を行った。また、経営計画が事業の見直しや再構築を図る良い機会となるよう、事業発展に向けた支援も行った。

具体的には小規模事業者持続化補助金計画策定支援時 4 件、事業再構築補助金計画策定支援時に 1 件、事業継続支援事業計画策定支援時に 5 件、起業家支援助成金計画策定支援時に 1 件、先端設備等導入計画策定支援時に 1 件、事業継続計画（BCP）策定支援時に 4 件、事業継続力強化計画策定支援時に 2 件、創業セミナー開催時に 11 件、合計 26 事業者 29 件の経営分析を行った。

【令和 6 年度の目標及び実績】 **達成率 80%**

支援内容	目標	実績
①セミナー開催回数	1 回	1 回
②経営分析事業者数	40 者	26 者

【評価・コメント】

評価	コ メ ン ト
B	経営分析事業者数は未達であったが、セミナーの開催内容や実施方法には、大きな工夫が見られた。（荒木）
B	令和 7 年度については経営状況分析を積極的に行い各種支援に繋げてもらいたい。（佐藤）
A	人口減少等による状況下で、中小企業にとっては今後も厳しい事業環境が想定されるが、商工会のセミナーで自社の強み弱みを分析し、財務諸表に現れない「知的資産」を自社で再認識する機会をもつことができたのは、企業にとって非常に重要かつ貴重な機会であったと思料する。 今後もこういったことへの商工会の取り組みを大いに期待する。（北島）
B	②経営分析事業者数が目標に対し実績が半分程度となっている。セミナーの内容や回数について検討されてはどうか。（成田）
B	セミナー開催は計画通りで問題はありません。経営分析事業者数の実績が少ないのは他の商工会でも同じ傾向が見て取れます。事業者に向けて、経営分析による経営計画策定が自社の持続的経営に繋がることの啓蒙を図る必要があると感じます。（白川）

4. 事業計画策定支援に関すること【指針②】（計画書 7～7P）

【取組んだ内容】

①DX 推進セミナーの開催

- ・ 名 称：身近な業務で使える DX セミナー
～ChatGPT を活用して Instagram の投稿を手軽に～
- ・ 日 時：令和 6 年 10 月 7 日（月）14:30～16:30

- ・場 所：福崎町商工会館多目的ホール
- ・対 象：商工会員
- ・講 師：兵庫県よろず支援拠点コーディネーター
中小企業診断士 津賀弘光 氏
- ・参 加 者：7名

Chat GPT を活用して SNS への投稿手法を学んでいただくことで、文章の作成等の時間削減や投稿の品質向上等、業務の効率化を図れる内容で実施した。

- ・名 称：DX 事例から学ぶ成功のヒント
- ・日 時：令和 6 年 11 月 19 日（火）13:00～15:00
- ・場 所：福崎町商工会館 2 階研修室
- ・対 象：商工会員・経営者協会員
- ・講 師：オフィスイーグレイション 代表 吉村 好広 氏
- ・参 加 者：11 名

DX の定義とその目的等、事例紹介を交えながらセミナーを行ったことで、具体的な取組をイメージしながら受けれる内容として実施した。

【外部リンク】[募集チラシ](#)

②創業セミナーの開催

- ・名 称：創業セミナー
- ・日 時：令和 6 年 9 月 17 日（火）、9 月 24 日（火）、10 月 1 日（火）、
10 月 8 日（火）、10 月 15 日（火）、10 月 22 日（火）
各回とも 13:30～16:30
- ・場 所：福崎町商工会館 2 階研修室
- ・対 象：
 - ・起業をお考えの方
 - ・開業後 3 年以内の事業者
 - ・趣味や特技を活かしたビジネスモデルを始めたい方
 - ・経営の勉強をしたい方
- ・講 師：コンサルティング・シスト
代表/中小企業診断士 伊藤 慎悟 氏
株式会社日本政策金融公庫姫路支店 融資第二課
課長代理 土田 裕 氏
- ・参 加 者：11 名

令和 6 年度の創業セミナーでは、参加事業者同士での自発的な交流もあり同じ創業者としての仲間意識は非常に高いものとなった。また、本セミナーを通しての知識獲得だけではなく、創業済みの参加者同士での事業依頼等の発展的な取組も見られた。また、セミナー参加者以外で福崎町が実施する創業支援補助金の申請に向けた支援を 1 件実施した。

【外部リンク】[募集チラシ](#)

③個別相談会の開催

令和 6 年度は、個別相談会を開催

- ・名 称：売上・収益拡大に向けた個別相談会
- ・日 時：令和 4 月 8 日（月）、4 月 9 日（火）、4 月 10 日（水）、

4月 11日（木）、4月 12日（金）、4月 15日（月）
各日とも9：00～12：00、13：00～16：00

- ・場 所：福崎町商工会館 1 階相談室
- ・対 象：商工会員
- ・講 師：株式会社プランコンサルティング
代表取締役社長／中小企業診断士 茂井 康宏 氏
- ・参加事業者数：12 者

前述のセミナー・個別相談会以外に窓口対応にて 13 事業者 15 件の事業計画策定支援を行った。

【令和 6 年度の目標及び実績】 達成率 65%

項目	目標	実績
①DX 推進セミナー開催数	1 回	2 回
②創業セミナー開催数	1 回	1 回
・事業計画策定者数	10 者	10 者
③個別相談会開催日数	5 日	6 日
・事業計画策定者数	10 者	3 者
④窓口対応での事業計画策定者数	20 者	13 者
事業計画策定者数（合計）	40 者	26 者

【評価・コメント】

評価	コ メ ン ト
C	③個別相談会での事業計画策定者数が大幅に未達であり、原因を教えてください。（荒木）
C	有用なセミナーを多数実施しているにもかかわらず参加者が少ない印象。集客方法を工夫すべきである。（佐藤）
B	DX 推進に関する情報提供は、今後の中小企業の経営において、欠かせない取り組みであり、地方の中小企業にこそ、適時に提供すべき情報であるから、こういった取り組みを評価する。 なお、事業計画の策定支援に関しては、当機構においても件数の獲得に苦慮しており、企業におかれた事情等を勘案すると、目標値に至らないことは、やむを得ないものと思料する。（北島）
B	セミナーへの参加者が少ないように感じる。セミナーの内容、情報発信等について検討し参加者増に努めていただきたい。（成田）
C	セミナー開催数は計画を上回る実績で地域のニーズに合致していると思います。 個別相談会及び窓口対応での事業計画策定数が少ないのは、3. 経営状況の分析に関することの実績にも関連し、事業者へ改めて啓蒙する必要性を感じます。（白川）

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】（7～9P）

【取組んだ内容】

令和 6 年度に策定した事業計画 19 件及び過年度に策定した事業計画に対し、策定支援にかかわった職員が延べ 222 回支援。計画の進捗状況やその後の課題等の把握を行った。

【令和 6 年度の目標及び実績】 達成率 90%

項目	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	40 者	54 者
フォローアップ頻度（延回数）	240 回	222 回
売上増加事業者数	10 者	22 者
営業利益率 5%以上増加事業者数	10 者	17 者

【評価・コメント】

評価	コ メ ン ト
A	概ね目標通りの実績が確認できた。（荒木）
A	概ね目標どおりの実績である。（佐藤）
A	事業計画策定後の継続支援により、売り上げ及び営業利益率の増加を達成した企業を多数輩出しており、地域中小企業に対して、商工会が有効な支援をしている証であり、評価されるべき。（北島）
A	概ね目標どおりの成果となっている。引き続き支援をお願いしたい。（成田）
A	事業者数の項目においては、いずれも計画を上回る実績であり丁寧に伴走支援が行われていると思います。（白川）

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】（9～11P）

【取組んだ内容】

小規模事業者が自社の商品、サービスに対して有効な販売促進活動の実践を支援するため、『第 98 回東京国際ナショナル・ギフト・ショー秋 2024・第 36 回グルメショー秋 2024』『第 27 回ものづくりワールド[大阪]』への出展支援を実施した。

第 98 回東京国際ナショナル・ギフト・ショー秋 2024・第 36 回グルメショー秋 2024 については 3 者が出展（食料品製造業者 1 者、装身具・装飾品・ボタン・同関連品製造業者 1 者、配合飼料製造業者 1 者）。出展効果を高めるため、各事業者は出展カテゴリごとに 1 者 1 小間で出展を行った。また、出展に際し、出展者には各者 1 名ずつのマネキンを派遣いただいた。

支援方法として後述の「見込客とつながり、思わず買いたくなる！『展示会・即売会マーケティング』セミナー」を開催した他、専門家派遣制度を活用し VMD コンサルタントの池松 美千代 氏や中小企業診断士の茂井 康宏 氏を招聘し、出展前にブースの装飾やマネキンのセールストークの標準化、独歩資料（バイヤーが社内に持ち帰りそのまま決裁をあげられる資料）の作成等、商談に向けたアドバイスをを行った。また、商談会当日には職員 1 名が同行し、マネキンの教育や商談のフォローを行った。

第 98 回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2024・第 36 回グルメショー秋 2024 では 3 日間で食料品製造業者は 109 件、装身具・装飾品・ボタン・同関連品製造業者は 86 件、配合飼料製造業者は 403 件、それぞれ商談があり、令和 7 年 3 月末時点で食料品製造業者は 5 件、装身具・装飾品・ボタン・同関連品製造業者は 0 件、配合飼料製造業者は 5 件の成約があった。

ものづくりワールド大阪では 2 者（粉末や金製品製造業、他に分類されないはん用機械・装置製造業）が出展。専門家・職員のセミナー、個別相談を通してバイヤーへ訴求する効果的な文言やブースレイアウト等についてもアドバイスをを行い、3 日間で 75 件／2 者の商談があり、年度内の成約は 4 件に至った。

展示会・商談会の出展支援に先立ち、伴走支援で出展支援を行う展示会・商談会出展事業者を対象に出展効果を高めるためのマーケティングセミナー及び個別相談会を以下の通り開催。

①マーケティングセミナーの開催

- ・ 名 称：見込客とつながり、思わず買いたくなる！
「展示会・即売会マーケティング」セミナー
- ・ 日 時：令和 6 年 7 月 29 日（月）13:30～16:30
- ・ 場 所：福崎町商工会館 2 階研修室
- ・ 対 象：伴走支援で出展支援を行う展示会・商談会出展事業者
- ・ 講 師：株式会社プランコンサルティング
代表取締役社長／中小企業診断士 茂井 康宏 氏
- ・ 参加事業者数：5 者

②マーケティング個別相談会の開催

- ・ 名 称：見込客とつながり、思わず買いたくなる！
「展示会・即売会マーケティング」個別相談会
- ・ 日 時：令和 6 年 7 月 30 日（火）9:00～12:00、13:00～16:00
令和 6 年 7 月 31 日（水）9:00～12:00、13:00～16:00
- ・ 場 所：福崎町商工会館 1 階相談室
- ・ 対 象：伴走支援で出展支援を行う展示会・商談会出展事業者
- ・ 講 師：株式会社プランコンサルティング
代表取締役社長／中小企業診断士 茂井 康宏 氏
- ・ 参加事業者数：4 者

【令和 6 年度の目標及び実績】達成率 67%

項目	目標	実績
①即売会出展事業者数	2 者	0 者
売上増加額／者	46 万円	0 万円
②商談会出展事業者数	2 者	5 者
成約件数／者	1 件	3 件
③マーケティングセミナーの開催	1 回	1 回
セミナー参加事業者数	10 者	5 者

売上増加率／者	10%	-33%
---------	-----	------

令和6年度の需要開拓に寄与する事業では、グローリー株式会社への取引依存度が高い2事業者から新札発行に伴う特需の反動により、業績が悪化する相談を受けて支援を行った。その結果、2者で4件の成約に繋がった。

また、マーケティングセミナー参加事業者の売上増加率がマイナスになっているのは、前述の新札発行に伴う株式会社グローリーからの特需が非常に大きく、支援事業者2者の前年の売上が一時的に大幅に上がったため、令和6年度は大きくマイナス成長となったことに起因する。なお、5者のうち2者の売上は増加している。

【評価・コメント】

評価	コ メ ン ト
C	目標は未達であったが、マーケティングセミナーやマーケティング個別相談会の開催には、一定の工夫が見られた。（荒木）
C	販路開拓、売上増加に資する良い取り組みであるが、参加者が少数に留まっているのは残念である。（佐藤）
B	商談会出店事業で支援によって成約につながっており、今後の成果拡大が期待できる。今後も継続して企業に寄り添った支援をされ、事業拡大につながることを望む。（北島）
B	①即売会出展事業者数が0となっている。要因を分析し、次年度に繋げてほしい。昨年度と比較しセミナー、個別相談会の種類・回数が減っている。次年度も同様の種類・回数であれば、内容を充実させ参加者を増やすことが必要。（成田）
C	商談会出展において、事前準備から当日の運営まで手厚く支援されていることが、商談からの契約に繋がったと思います。 グローリー株式会社の特需の反動についての相談は事業所のニーズに対応したものと考えられますが、相談内容がマーケティングセミナー・個別相談会のタイトル・目的とは乖離しているように見受けられます。敢えて実績に記載する必要があるのでしょうか。（白川）

Ⅱ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み（12～13P）

1. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

【取組んだ内容】

事業ごとに設定した数値目標に対する実績並びに実施した内容を明記した事業評価報告書を作成し、事業評価委員会にて外部有識者から事業成果に対する評価・見直し案について提示を受けた。事業評価報告書及び評価・見直し案は商工会ホームページにて公表を行った。

①事業評価委員会の開催

- ・日 時：令和6年4月25日（木）15:00～16:05
- ・場 所：福崎町商工会館3階会議室
- ・議 案：令和5年度事業評価について
- ・出席者名：中小企業診断士 荒木 慎吾 氏
株式会社日本政策金融公庫姫路支店 支店長 佐藤 文昭 氏
独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部
播磨エリアマネージャー 北島 成浩 氏
福崎町地域振興課 課長 成田 邦造 氏
兵庫県商工会連合会 広域指導センター所長 白川 健治 氏
福崎町商工会 会長 大井 克哉 氏
福崎町商工会 副会長 小幡 八郎 氏
福崎町商工会 副会長 橋本 正彦 氏
福崎町商工会 事務局長 吉澤 幹夫
福崎町商工会 総務課係長 木村 真一
福崎町商工会 経営支援課主任 船田 和夫

【外部リンク】 [事業評価報告書](#)

【コメント】

コ メ ン ト
毎年開催されており、今後も継続していただきたい。（荒木）
なし。（佐藤）
年間の業務を外部の評価委員から評価を受け、意見を受けることは貴重な機会。委員からあった意見を踏まえて、翌年度以降の事業に役立ててもらいたい。（北島）
適切に公表されている。（成田）
年度当初に前年度の実績を詳細に纏めて評価委員会を開催するのは、大変だと思います。（白川）

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

○支援能力の向上

①職員研修の受講による支援能力の向上

兵庫県商工会連合会等が主催する職責、相談業務、経営支援に必要な専門知識の習得と課題解決に向けた提案力を身に着けるための研修に年 2 回以上参加し、経営実態の把握や経営状況の把握及び経営計画策定など、小規模事業者の利益確保に繋がる支援能力の習得を図る。また、他の参加者の支援事例や講師の専門性を見極め、専門家活用におけるコーディネート力の向上に努める。特に令和 6 年度からは経営力再構築伴走型支援に基づく対話力向上及び小規模事業者の課題解決支援力向上の研修が実施される予定である。

【受講した研修】

実施日	出席者	場 所	内 容
6. 4. 10	船田	オンライン	令和 6 年度伴走型小規模事業者支援推進事業の公募に係る説明会
6. 4. 12	安本	オンライン	令和 6 年度伴走型小規模事業者支援推進事業の公募に係る説明会
6. 4. 19	中川	オンライン	東京ギフト・ショー説明会
6. 5. 22	中川	姫路商工会議所	県制度融資等説明会
6. 6. 7	安本・中川	オンライン	持続化補助金採択以降システム対応オンライン説明会
6. 6. 8	正職員	神戸駅前研修センター	兵庫県商工会職員協議会通常総会・経営支援事例発表大会
6. 6. 13	吉澤	兵庫県商工会館	第 1 回商工会職員ビジョン策定委員会
6. 6. 26	吉澤・木村	中播磨健康福祉事務所 2 階大会議室	第 63 回福崎食品衛生協会通常総会・指導員研修会
6. 6. 28	安本	オンライン	経営支援担当課長会議
6. 7. 11	吉澤・木村・大道・中川	オンライン	商工会組織における不祥事防止とコンプライアンス研修
6. 7. 12	大道・中川・船田	オンライン	ギフトショー・グルメショー出展者説明会
6. 7. 16	会長	ホテル日航姫路 3 階光琳の間	姫路納税協会研修会・講習会並びに全体役員会
6. 7. 18	安本・木村・中川・船田	オンライン	伴走型小規模事業者支援推進事業における兵庫県下商工会向け説明会
6. 8. 2	中川	兵庫労働会館	財務研修会
6. 8. 5	木村・安本・船田・松田	オンライン	メンタルヘルスケア研修会
6. 8. 6	吉澤・大道・中川・齋藤	オンライン	メンタルヘルスケア研修会

6. 8. 13	吉澤・安本・ 大道・中川・ 船田	オンライン	商工会職員向けミモザ企業 申請研修
6. 8. 21	船田	2階多目的ホール	基礎的経改指導研修会（財 務）
6. 8. 23	中川・船田	オンライン	ものづくりワールド(大 阪) 打合せ
6. 9. 9～10	監事・副会 長・吉澤	ホテルモントレ姫 路	金融審査委員等講習会
6. 9. 25	大道・中川	オンライン	社労夢 FOREVER 各機能操作 研修会
6. 9. 26	安本	兵庫県民会館	経営支援担当課長連絡会議
6. 10. 15	船田	三宮研修センター	若手職員向けマル経講習会
6. 11. 7	吉澤・木村	中央労働センター	地域経済活性化支援費補助 金及び各種規程に関する職 員研修会
6. 11. 11	大道	イーグレひめじ	人材確保・ビジネスチャン ス拡大につながる SDG s 経 営
6. 12. 6	大道・船田	市川町商工会	金融研修会
6. 12. 24	木村	神戸中央労働セン ター	コミュニケーション研修会
6. 12. 25	大道	福崎町商工会館	コミュニケーション研修会
7. 1. 30	大道	神河町商工会館	職員税務研修会
7. 3. 25	安本	オンライン	経営支援担当課長会議

【コメント】

コ メ ン ト
資質向上にも、積極的に取り組まれていることが確認できた。（荒木）
支援能力の向上に今後も努めてもらいたい。（佐藤）
職員の皆様の日ごろの研鑽が、結果として、地域中小企業の成長につながると 考えると、職員の皆様は、通常の業務が多忙な中、日ごろから県連等が行 う研修に参加され、資質向上に努められていることに敬意を表します。（北島）
研修で得た知識等を業務に繋げていただきたい。（成田）
正職員全員が幅広く研修を受講し、資質向上に努めておられるのが見て取れま す。（白川）

②中小企業支援担当者等研修の受講による支援能力の向上

職員の職務歴に応じて中小企業大学校が主催する中小企業支援担当者等研修
に年1回参加する。

【受講した研修】

受講日	受講者名	受講先	内容
6. 6. 3～6. 7	船田	中小企業大学校 東京校	小規模企業支援能力向上研修
6. 10. 1～10. 3	安本	中小企業大学校 東京校	販路開拓・展示会商談会支援 の進め方

【コメント】

コ メ ン ト
研修で学んだスキルを積極的に活用されている。（荒木）
なし。（佐藤）
遠方での宿泊研修で、参加した職員の負担も大きいと思うが、全国から支援担当者が集まって一緒に研修するのは貴重な機会です、担当者同士の横のつながりも作り、深めてもらいたい。（北島）
研修で得たものを中小企業の支援に生かしていただきたい。（成田）
経営発達支援計画に合致したテーマの研修を経営指導員が効果的に受講されていると思います。（白川）

③創業支援研修による支援能力の向上

創業支援に必要な機関の研修を受講し、支援力の向上に努める。

【受講した研修】

受講日	受講者	受講先	内容
6. 11. 26～11. 28	中川	中小企業大学校 関西校	創業・新規事業・持続化支援 の進め方

【コメント】

コ メ ン ト
研修で学んだスキルを積極的に活用されている。（荒木）
なし。（佐藤）
国の施策において、数年前から創業支援が重視されており、支援者にも一定の支援能力が求められるところ、この分野の研修は今後も継続して受講していただきたい。（北島）
創業者が増えるよう支援に努めていただきたい。（成田）
支援に必要な研修を的確に受講されていると思います。（白川）

④専門家派遣による支援能力の向上

小規模事業者専門家を派遣する際には、担当職員が同行し、専門家の指導、助言ノウハウなど高度な支援力を学ぶ。

【取組んだ内容】

小規模事業者等の多種多様な専門的経営課題を解決するため、中小企業診断士や社会保険労務士、弁護士、フードコーディネーター等の専門家派遣に職員が同席し、専門家の支援内容について共有化を図ると共に、派遣後のフォローを行った。（令和6年度専門家派遣回数104件）

【コメント】

コ メ ン ト
専門家派遣で学んだスキルを積極的に活用されている。（荒木）
なし。（佐藤）
中小企業庁においては、支援の成果の高さから、課題設定型伴奏支援の普及に取り組んでおり、専門家派遣においても、商工会職員が専門家と一緒に企業改題を傾聴し支援を行い、職員は支援ノウハウを獲得して、更に支援力向上につなげられていくことを期待する。（北島）
小規模事業者へのフォローを継続していただきたい。（成田）
事業者のニーズに合致した専門家を積極的に活用し、職員も同席することで支援能力の向上に努められていると思います。（白川）

⑤OJT 制度による支援能力の向上

ベテラン職員は、支援経験の少ない職員が伴走型支援を行う際に、専門家のコーディネートや支援手法など OJT により育成に努める。

【取組んだ内容】

第98回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2024、第36回グルメショー秋2024並びに第27回ものづくりワールド[大阪]への出展支援に際し、展示会・商談会への出展支援経験が豊富な職員と支援経験の少ない職員がペアとなり、専門家のコーディネートや支援手法などをOJT形式で実施し、支援能力の向上に努めた。

【コメント】

コ メ ン ト
支援能力の向上に取り組まれており、十分に評価できる。（荒木）
なし。（佐藤）
座学による支援力向上の研修も重要であるが、OJTによる支援経験の積み重ね等を通じた支援力向上の方法も非常に有効と考えます。（北島）

適切なフィードバックにより人材育成に努めていただきたい。（成田）
実際の展示会場での OJT は経験の少ない職員にとって、絶好の機会だと思います。（白川）

⑥商談会同行による支援能力の向上

商談会や展示会、アンテナショップに出展する小規模事業者に同行し、バイヤーとの交渉や消費者への PR 方法などを通じ、マーケティングに対してのスキルや支援力の向上に努める。

【取組んだ内容】

『第 98 回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2024・第 36 回グルメショー秋 2024』『第 27 回ものづくりワールド[大阪]』に出展する小規模事業者に同行し、バイヤーとの交渉や消費者への PR 方法などを通じ、マーケティングに対してのスキルや支援力の向上に努めた。

【コメント】

コ メ ン ト
マーケティングスキルや支援能力の向上に取り組まれており、十分に評価できる。（荒木）
なし。（佐藤）
バイヤーがこういった商品を希望するのかは、バイヤーとの交渉によって学ぶことができ、そういった活動で得られた情報を地域中小企業に還元されると非常に有効な支援になると考える。（北島）
現場で得たノウハウを地域の事業者へ反映していただきたい。（成田）
出展事業者に寄り添った支援をされていると思います。会場に同行することで職員も新たな気づきがあり支援力の向上に繋がると考えられます。（白川）

⑦DX 講習会等による支援能力の向上

経営環境がめまぐるしく変化する中で、経営指導員等及び一般職員は常に最新情報を先取りする必要がある。そのため、DX 推進のための IT スキルや法律改正、制度変更などの知識習得を個人で行うのではなく、組織として取り組む。関係機関と連携を図り、職員向けの「DX 講習会」や「制度改正説明会」などを開催し知識を習得し、事業者への提案力を強化する。

【取組んだ内容】

令和 6 年度には、セミナーとして DX 事例から学ぶ成功のヒントと身近な業務で使える DX セミナーを開催し、最新の DX 推進のための IT スキルや事例を職員も同席（DX 事例から学ぶ成功のヒント 3 名、身近な業務で使える DX セミナー 1 名）することで知識の習得を図った。また、経営支援会議を通じて同席した職員から知識の共有を図ることで、組織としての支援能力の向上を図った。

【コメント】

コ メ ン ト
研修で学んだスキルを積極的に活用されている。（荒木）
なし。（佐藤）
DX や IT は事業環境の変化への対応や人手不足対応に欠かせない取り組みになっており、職員の皆様は今後も継続して知識習得等に取り組んでもらいたい。（北島）
DX について得た知識を事業者支援に生かしていただきたい。（成田）
DX はなかなかハードルが高く、実際はその前段階の IT 導入支援の場合も多くあります。専門家を効果的に活用することで、きめ細やかな支援が行えると思います。（白川）

○情報共有による資質向上

①経営カルテでの情報共有

支援に関する巡回時の記録、事業者の経営状況分析結果等を経営カルテとして蓄積し、情報の共有化を図ることで経営支援体制を構築する。

【取組んだ内容】

日々の巡回や窓口対応での記録を経営カルテとして残し、事業所ごと、また指導内容区分等の分類および検索を有効活用し、職員全体で共有することにより、必要な時に誰もが対応、活用できるよう支援体制の整備を行った。また、これらのデータ共有が会員事業所への経営支援の基礎資料として活用でき、組織全体における支援能力の向上を図った。

【コメント】

コ メ ン ト
職員間の情報共有にも積極的に取り組まれている。（荒木）
なし。（佐藤）
職員の人事異動もある中、商工会として組織で、地域企業に支援をするには、情報共有基盤の整備と過去からの情報履歴の保存が重要だと考える。地味な業務であるが、経営カルテの整備と記録記載は、非常に重要な業務であるとする。（北島）
カルテを整備し、組織的に支援する取り組みを続けていただきたい。（成田）
経営カルテの整備は、情報共有手段として有効です。効果的な運用について姫路市商工会の取組みが参考になると思います。（白川）

②支援会議での情報共有

支援会議を月 1 回の頻度で開催し、実際に関わった支援の進捗状況、専門家派

遣の内容報告を共有し、支援先の優先順位などを含め全員で意見交換し、支援ノウハウと意識の共有化を図る。

【取組んだ内容】

支援会議を月 1 回以上開催し、小規模事業者に対する支援状況について各担当者から説明を行うことで、支援ノウハウと意識の共有を図った。また、今後実施する事業について担当者以外にも情報共有を図りスムーズな事業運営に努めた。

実施日	議題
6. 4. 3	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・令和 5 年度経営発達支援事業 事業評価委員会開催について ・令和 6 年度経営発達支援事業について ・その他について
6. 5. 2	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・令和 6 年度伴走型小規模事業者支援推進事業補助金申請について ・展示会・商談会出展支援について ・その他について
6. 6. 10	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・展示会・商談会出展支援について ・その他について
6. 7. 3	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・展示会・商談会出展支援について ・その他について
6. 8. 1	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・展示会・商談会出展支援について ・その他について
6. 9. 1	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・展示会・商談会出展支援について（報告） ・知的財産経営支援セミナー ・創業セミナー ・第 27 回ものづくりワールド大阪

	・DX セミナー ・需要動向調査に関すること ・その他について
6. 10. 8	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・令和7年度経営発達支援事業について ・知的財産経営支援セミナー（報告） ・第27回ものづくりワールド大阪について（報告） ・DX セミナー（報告） ・創業セミナー ・需要動向調査に関すること ・その他について
6. 11. 5	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・DX セミナー ・兵庫県福崎町フェア ・創業セミナー（報告） ・需要動向調査に関すること ・令和7年度経営発達支援事業について ・その他について
6. 12. 2	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・DX セミナー（報告） ・兵庫県福崎町フェア ・需要動向調査に関すること ・令和7年度経営発達支援事業について ・令和7年度県連助成事業の要望について ・その他について
7. 1. 9	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・需要動向調査に関すること ・伴走型小規模事業者支援推進事業実績報告について ・令和7年度事業計画に向けて ・その他について
7. 2. 5	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・需要動向調査に関すること ・伴走型小規模事業者支援推進事業実績報告について ・令和6年度の振り返りと令和7年度事業計画に向けて

	・事業評価委員会の開催について ・その他について
7. 3. 4	・補助金申請について ・事業計画等策定進捗、専門家派遣の状況、その他支援予定について ・令和6年度経営発達支援事業 事業評価委員会開催について ・令和7年度事業について ・その他について

【コメント】

コ メ ン ト	
	定期的な支援会議で情報共有が出来ている。（荒木）
	なし。（佐藤）
	支援担当職員による支援会議を毎月開催し、小規模事業者に対する支援状況などを意見交換され、支援ノウハウと意識の共有化を図られていることは、とても良い取り組みをされていると思う。 他の支援機関では、そういった「思い」はあっても、取り組みが出来ているところは多くないのではないかと。（北島）
	引き続き支援ノウハウと意識の共有化を図っていただきたい。（成田）
	計画通り月1回の開催により情報共有に努められていると思います。（白川）

③職員会議での情報共有

職員会議を月1回の頻度で開催し、研修等で習得した小規模事業者の支援事例や支援に有効なノウハウを紹介し共有化を図る。

【取組んだ内容】

職員会議を月1回開催し、研修会や会議等で得た情報や事業に対して他の職員へ情報共有を行い、全職員の支援能力やノウハウの向上に努めた。

実施日	議題
6. 4. 5	・令和6年度共済集金担当について ・令和6年度記帳機械化担当について ・福崎町商業振興協同組合通常総会（5/21）について ・会報「やまもも」について ・その他
6. 5. 15	・通常総会・総代交流会（5/28）について ・福崎町経営者協会定時総会（5/22）について ・福崎町商業振興協同組合通常総会（5/21）について ・中小事業者応援券について ・会報「やまもも」について ・次回案内発送について

	・兵庫県商工会職員協議会中播磨支部通常総会について ・兵庫県商工会職員協議会通常総会・経営支援事例発表大会について
6. 6. 26	・福崎町中小商業者応援券について ・健康診断実施事業について ・源泉指導について ・食品衛生講習会について ・もち麦地ビール「GAJIRO BEER」完成お披露目イベントについて ・夏まつりについて ・その他
6. 7. 25	・福崎町中小商業者応援券について ・夏まつりについて ・福崎町経営者協会ヴィクトリーナ姫路によるバレーボール教室について ・銀の馬車道受入体制強化事業について ・その他
6. 8. 8	・福崎町中小商業者応援券引換等について ・青年部えき酒場 in 福崎について ・中小機構備品の搬入について ・福崎町商業振興協同組合の今後について ・その他
6. 9. 25	・産業祭について ・消防訓練について ・一日金融公庫について ・中青連クリスマスマーケットについて ・商工会報1月号発行について ・その他
6. 10. 22	・産業祭について ・一日金融公庫について ・商工会報1月号発行について ・職員の年末調整事務について ・その他
6. 11. 20	・新年交礼会について ・商工会報1月号発行について ・産業祭展示即売会アンケートについて ・その他
6. 12. 17	・今後の事業について ・その他
7. 1. 9	・今後の事業について ・その他
7. 2. 13	・今後の事業について ・その他
7. 3. 18	・総代改選について

	・理事会について ・監査会について ・労働保険年度更新について ・にぎわい春のガジマルシェについて ・次回案内発送について ・その他
--	---

【コメント】

コ メ ン ト
定期的な職員会議で情報共有が出来ている。（荒木）
なし。（佐藤）
商工会が地域のイベントを主催したり、積極的に地域振興の担い手になることは、事業者だけでなく住民等も大いに期待するところと感じる。（北島）
職員間で齟齬が生じないよう情報共有に努めていただきたい。（成田）
計画通り月1回の開催により情報共有に努められていると思います。職員数の少ない商工会ですので、支援会議と同時に開催することで業務効率化が図れる可能性もあるのではないのでしょうか。（白川）

3. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

①職員同士の情報交換会の実施（年1回）

兵庫県商工会職員協議会中播磨支部において経営支援担当者及び総務担当者それぞれの情報交換会を実施する（令和5年度初実施）。情報交換会では、個々に蓄積されている支援ノウハウ等を共有し、兵庫県下の商工会職員全員が閲覧できるデータベースにノウハウを蓄積させ、全体での共有を図る。

【取組んだ内容】

兵庫県商工会職員協議会中播磨支部と但馬支部役員で広域連携の動きや支援事業を共有し、今後の連携可能性を模索することを目的とした情報交換会を開催した。参加者の中には、職員協議会の職員以外にも中播磨地区のチーフコーディネーター、広域連携に係る事業を担当した職員もあり、各商工会で取り組んでいる事業と支援ノウハウについて共有を行った。

【コメント】

コ メ ン ト
他の支援機関とも情報共有が出来ている。（荒木）
他商工会との情報交換により工夫事例・良好事例の吸収に努めてもらいたい。（佐藤）
支援機関・支援者同士の横の連携、情報交換を図ることは大切な取り組み。（北島）

今後も他支援機関の事業や支援ノウハウについて知見を広げていただきたい。 (成田)
兵庫県商工会職員協議会中播磨支部だけでなく但馬支部役員とも情報交換を開催したことで、より多くの情報交換が図れたと思います。(白川)

②広域支援機関との連携（年10回）

県下28商工会の事務局長及び県連幹部職員が参加する兵庫県商工会連合会事務局連絡会議（年4回）及び中播磨地区商工会連絡協議会（姫路市商工会・神河町商工会・市川町商工会・福崎町商工会）が実施する事務局連絡会（年6回）に参加して商工会同士の連携を深め、先行して認定を受けている商工会からの経営発達支援事業における支援ノウハウ等の情報を得る。

【取組んだ内容】

【兵庫県商工会連合会】

実施日	会議名	内容
6.6.25	第1回商工会管理者研修会	「心理的安全性とは」 「ワークエンゲージメントの高い職場の創り方」 講師 溝井&パートナー経営コンサルティング 事務所 代表 溝井 伸彰 氏
	第1回事務局連絡会議	・チーフコーディネーターによる事業所訪問 ・小規模持続化補助金申請採択状況 ・伴走型小規模事業者支援推進事業申請・採択状況 ・事業環境変化対応型支援事業執行状況 ・県事業継続支援事業申請状況 ・県ひょうご産業SDGs宣言・認証事業の推進 ・FOOD STYLE Kansai2025 出展支援 ・国際産業フロンティアメッセ2024 出展支援 ・金融審査委員等講習会 ・チーフアドバイザー一覧窓口相談員
6.10.2	第2回事務局連絡会	・小規模事業者持続化補助金 申請・採択状況 ・事業環境変化対応型支援事業 執行状況 ・事業継続支援事業 採択状況 ・ひょうご産業SDGs推進宣言・認証事業 ・兵庫県中小企業診断士との共催事業 ・県連直轄事業FOOD STYLE Kansai2025 出展支援 ・各種提案公募事業進捗確認商工会巡回について ・チーフアドバイザー県連窓口相談活用について
6.12.10	第3回事務局連絡会議	・事業環境変化対応型支援事業執行状況について ・伴走型支援推進事業執行状況について ・FOOD STYLE Kansai2025 出展支援について ・中小企業診断士協会との共催事業について ・各種提案公募事業巡回実施状況について ・ひょうご産業SDGs推進宣言・認証事業について

7. 2. 14	第2回商工会管理者研修会	「兵庫県中小企業支援施策について」 講師 兵庫県産業労働部地域経済課 課長 福田 靖久 氏 「商工会を取り巻く環境について」 講師 全国商工会連合会 政策推進部 部長 廣田 実 氏
	第4回事務局連絡会議	・令和5年度補正予算 事業環境変化対応型支援事業執行状況について ・令和6年度補正予算 事業環境変化対応型支援事業要望状況について ・伴走型支援推進事業執行状況について ・FOOD STYLE Kansai 2025 出展支援について ・各提案公募型事業申請状況について ・ひょうご産業 SDGs 推進宣言・認証事業について ・県下一斉 SDGs 経営チャレンジテストについて ・令和6年度兵庫県政労使会議共同メッセージ

【中播磨地区商工会連絡協議会】

実施日	会議名	内容
6. 5. 10	第1回事務局会	・令和6年度事業について
6. 7. 23	第2回事務局会	・広域連携業務に関するヒアリングについて ・令和6年度事業の進捗状況について
7. 1. 15	第3回事務局会	・広域連携業務のフィジビリティについて ・令和6年度事業の進捗状況について

【コメント】

コ メ ン ト
広域支援機関との連携も出来ている。（荒木）
なし。（佐藤）
多数の会議対応お疲れ様です。商工会の役割を期待されてのことと思う。（北島）
広域支援機関との連携が図られている。（成田）
中播磨地区商工会連絡協議会、兵庫県商工会連合会開催の会議に全て出席されることで広域的な情報交換が図れたと思います。 文中に「中播磨地区商工会連絡協議会（姫路市商工会・神河町商工会・市川町商工会・福崎町商工会）が実施する事務局連絡会（年6回）」とありますが、実績を見ると『年3回』が正しいのでしょうか。（白川）

③専門家及び兵庫県よろず支援拠点との連携（年3回）

これまで商工会で開催してきたセミナーや専門家派遣等により中小企業診断士・税理士等の専門家や兵庫県よろず支援拠点とは、情報交換しやすい環境が整

っており経営発達支援事業を進めるうえで連携を強化していく。また、これまで同様経済動向調査並びに需要動向調査にも専門家を活用し小規模事業者の経営分析や事業計画策定支援に取り組む。

特に兵庫県よろず支援拠点とは、創業セミナー等の各種セミナーを連携して開催しているため年度当初、年度途中、年度末に情報交換を行い、効果的かつ効率よく小規模事業者への支援に繋げる。

【取組んだ内容】

これまで商工会で開催してきたセミナーや専門家派遣等により中小企業診断士・税理士等の専門家や兵庫県よろず支援拠点とは、情報交換しやすい環境が整っており経営発達支援事業を進めるうえで連携を強化し、小規模事業者の課題解決や事業計画策定支援、販路開拓やIT支援を行った。また、これまで同様経済動向調査並びに需要動向調査にも専門家を活用し小規模事業者の経営分析や事業計画策定支援に取り組んだ。

特に兵庫県よろず支援拠点とは、DXセミナーを連携して開催し、年度当初、年度途中、年度末に情報交換を行い、効果的かつ効率よく小規模事業者への支援に繋げた。

【コメント】

コ メ ン ト
専門家及び兵庫県よろず支援拠点との連携も充分に出来ている。（荒木）
なし。（佐藤）
よろず支援拠点は、敷居の低い、気軽に相談できる場所として、全国に設置されており、よろず拠点も日ごろから相談件数獲得を求められている。今後もよろず拠点と連携されて取り組みを深めていただきたい。（北島）
効果的な支援に繋がるよう引き続き連携を深めていただきたい。（成田）
事業者のニーズに合致した専門家を選定し、効果的な支援を行われていると思います。 兵庫県よろず支援拠点の専門家を活用した個別相談の実績、相談内容が知りたいところです。（白川）

④地域金融機関との連携（年2回）

福崎町及び町内金融機関（株式会社みなと銀行、株式会社但馬銀行、播州信用金庫、但陽信用金庫、姫路信用金庫）との情報交換を開催する。金融支援他、創業や経営改善における事例や課題などについての情報交換を行い、今後の支援に対する方向性の共有を図りながら連携して個社支援に取り組む。

【取組んだ内容】

個別に金融機関との情報交換を実施したが、金融協会との会合は実施していない。

【コメント】

コ メ ン ト
地域の金融機関との連携も出来ている。（荒木）
なし。（佐藤）
継続して取り組まれることを期待する。（北島）
金融協会とも情報交換されてはどうか。（成田）
他の商工会においても地域金融機関と商工会が一堂に会しての情報交換会議は開催出来ていないことが多くやむを得ないと考えられます。 個別の情報交換は実施したとのことですので、得られた情報を個社支援に生かしていれば成果はあるものと思われます。 町内全ての金融機関と個別の情報交換を年２回実施したのでしょうか。（白川）

⑤株式会社日本政策金融公庫姫路支店との連携（年１回）

株式会社日本政策金融公庫姫路支店管内の商工会・商工会議所による連絡会議において、金融支援他、各地域の資金需要動向や地域経済動向について情報交換を行っている。また、小規模事業者等から金融相談を受けた時は、迅速に対応するため、普段から公庫職員と商工会職員の情報交換を図り、公庫職員が商工会職員に同行して小規模事業者を訪問するなど、よりきめ細かな支援を目指す。

【取組んだ内容】

講師として公庫職員を招き、商工会の若手職員を対象にした創業計画書の作成と融資について審査・支援のポイントについて研修会を開催した。参加者は中播磨地区から商工会職員が１１名参加し、資金計画の作成、留意点を通じて経営支援能力の向上を図った。

【コメント】

コ メ ン ト
株式会社日本政策金融公庫姫路支店との連携も出来ている。（荒木）
経営支援能力の向上、経営改善貸付推進の観点から開催時期の前倒しを希望する。（佐藤）
継続して取り組まれることを期待する。（北島）
引き続き細やかな支援に努めていただきたい。（成田）
中播磨地区の若手職員向けの研修会は、非常に良い取り組みだと思います。 普段公庫とあまり接点のない職員に公庫を知ってもらうことで、マル経の推進にも繋がっていくのではないのでしょうか。 公庫職員と同行した事業者訪問の実績はどうでしょうか。（白川）